

募集

～教育の質向上を目指すICT利用～

2022年度 ICT利用による教育改善研究発表会（オンライン開催） 開催要項

この発表会は、全国の国立・公立・私立の大学・短期大学教職員を対象に、教育改善のためのICT利用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質向上を目指した教育活動の推進を目的として、1993年（平成5年）より優れた研究発表を選考し、表彰しています。最も優れた発表に対しては文部科学大臣賞、優秀な発表に対しては協会賞等を授与し、その教育業績を顕彰します。

ここでは、アクティブ・ラーニング、PBL（問題発見・課題解決型学習）等による教育方法の改善、遠隔（オンライン）授業導入による教育方法の改善、学修成果の評価方法など、多岐に亘った実践にもとづく研究成果の発表を予定しています。

大学教職員の皆様には、今後の教育活動の改善・充実に示唆を与えるものですので、発表会の重要性をご考察にまわり、奮って参加いただくことを希望します。

日 時：2022年（令和4年）8月25日（木）10:00～18:00（予定）

配信会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）から Zoom 配信

開催方法：オンラインによるテレビ会議室（Zoom 使用）とします。なお、申込者には8月19日（金）にメールでテレビ会議室専用の URL、ID とパスワードをお知らせします。

主 催：公益社団法人 私立大学情報教育協会

後 援：文部科学省（予定）

参加対象：国立・公立・私立の大学・短期大学の教職員、賛助会員

参 加 費：[参加者 1人当たり]

加盟大学・短期大学、賛助会員：9,000 円（税込）

非加盟大学・短期大学：18,000 円（税込）

* 発表者の参加費は不要です。発表要項をご覧ください。<https://www.juce.jp/LINK/houhou/22houhou/22junbi.htm>

* 加盟校の確認は右のサイトをご覧ください。<https://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm>

参加者には、当日の Zoom 録画データを後日閲覧できるよう、3 日間程度保管し、録画視聴としてテレビ会議室専用のページで案内します。

なお、上記に加えて、有料のオンデマンドサービスを申し込まれている本協会加盟校および賛助会員は、当日の発表スライドと発表映像（許可が得られたもの）を 12 月ごろから 1 年間、閲覧できます。

申込方法：Web からの申込み

下記 Web の「参加申し込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

<https://www.juce.jp/LINK/houhou/22houhou/>

メール添付あるいは FAX での申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。E-mail: info@juce.jp FAX: 03-3261-5473

参加者には、オンライン開催のため事前に発表会資料集を郵送します。

参加者は確実に受取れるよう、送付先住所、メールアドレスと緊急連絡用電話番号を記入ください。

* 申込に記載の個人情報は、下記の目的のみに使用し、それ以外には使用しません。

「大学名、氏名、所属（学部、部署）」は、発表会論文資料集（冊子）に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、事業案内の連絡先情報として使用します。「送付先住所」と「電話番号」は発表会開催後にデータを削除します。

申込締切り：令和4年8月18日（木）

テレビ会議室専用の URL、ID とパスワードをお知らせした後のキャンセルはできません。この場合、参加費の返金はしませんのでご了承ください。

参加費振込：できるだけ8月16日（火）までにお振込み下さい。

一括振込みの場合：振込依頼人名には、大学名、企業名の他に部署名等を記載ください。

個人振込みの場合：参加費の振り込み依頼人名には、大学名、企業名の他に氏名を記載ください。

[振込先] りそな銀行市ヶ谷支店 普通預金 0054409 名義人 私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4 F TEL:03-3261-2798

* 振込手数料は申込者各自で負担願います。

* 払い込み後のキャンセルは、8月16日（火）まで受付し、払い込まれた参加費から振込手数料を差し引いた額を返金します。

送付・問い合わせ先

公益社団法人 私立大学情報教育協会 事務局 E-mail: info@juce.jp（問い合わせ用）

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 九段北 TL ビル 4F

TEL: 03-3261-2798/FAX: 03-3261-5473

2022年度ICT利用による教育改善研究発表会発表一覧(43件)

*発表は3会場から配信します。

*研究発表者名は発表代表者を掲載しています。

(敬称略)

	時間	発表番号	発表題目	研究発表者	大学名
A 人文科学・社会科学・AI教育系、芸術・地域創生、その他	10:00	A-1	学習状況一覧プラットフォームを用いたオンラインプログラミング演習の実施	飯尾 淳	中央大学
	10:20	A-2	統計分析ソフト「R」を用いたデータサイエンス学習におけるICTの活用	西 誠	金沢工業大学
	10:40	A-3	産学連携と学生主体の調査を基礎とした学部で取り組む教育改善	山口 和範	立教大学
	11:00		休 憩		
	11:10	A-4	基礎化学実験におけるLMSを活用したハイブリッド授業とデータサイエンス導入の試み	小池 裕也	明治大学
	11:30	A-5	ICTを利用した人文学部におけるデータサイエンス教育-遠隔リアルタイムでの実践	間淵 洋子	和洋女子大学
	11:50	A-6	大学における学修成果の電子書籍化による知の循環構造の構築	湯浅 俊彦	追手門学院大学
	12:10		休 憩		
	13:10	A-7	反転授業とオンデマンド・グループワークの相乗効果	木本 圭一	関西学院大学
	13:30	A-8	遠隔方式による経営シミュレーションゲーム授業	川野 克典	日本大学
	13:50	A-9	大学オンデマンド授業に於ける学生の集中度や参画意識を高める教材作りと授業改善	杉山 章	東京福祉大学
	14:10		休 憩		
	14:20	A-10	ポストコロナ時代による学生の意識変化調査 ~ICT活用に関する実証を通して~	金 承子	静岡英和学院大学
	14:40	A-11	履修選択と学修機会の充実に向けたスタートアップ授業動画の効果	鈴木 学	福岡大学
	15:00	A-12	「場の力」を創出する、演習におけるICT活用事例	谷口 友帆	名古屋学芸大学
	15:20		休 憩		
	15:30	A-13	不正行為の防止を考慮した遠隔試験の試み	上村 英男	福岡工業大学短期大学部
	15:50	A-14	4G沿岸基地局および衛星通信を通じた陸-海遠隔実習・研修の可能性探索	千葉 雅史	東海大学
B 医療専門・理学・工学・農学、生活家政	10:00	B-1	オンライン授業に対応する手指衛生指導の可視化とその教育効果の検討	白水 雅子	大手前短期大学
	10:20	B-2	ICTを活用したパンデミックにおける地域医療臨床実習代替プログラムの開発と評価	井上 和男	帝京大学
	10:40	B-3	医学部臨床実習におけるICT利用による省察促進と学習効果の実感および学習意欲向上	貫戸 明子	近畿大学
	11:00		休 憩		
	11:10	B-4	計量テキスト分析によるハンディキャップ体験の教育効果の検証	渡部 俊彦	東北医科薬科大学
	11:30	B-5	ICTを活用したハンディキャップ体験学習の実践	穴戸 史	東北医科薬科大学
	11:50	B-6	薬学部5年生への学習支援に用いられたICT教材の効果比較	福留 誠	神戸学院大学
	12:10		休 憩		
	13:10	B-7	同時双方向授業から見えた水理学の教育改善について	安田 陽一	日本大学
	13:30	B-8	コンピテンシー基盤型のCAD/CG教育	笹谷 康之	立命館大学
	13:50	B-9	市販のLMSを利用した学習の習慣付けの支援	小林 志好	東京都市大学
	14:10		休 憩		
	14:20	B-10	オンラインツール利用による遠隔授業の利点活用及び不自由さ改善に関する取り組み	土屋 秀和	東海大学
	14:40	B-11	バーチャルリアリティ (VR) 技術を用いた食肉衛生検査実習の取組み	内田 玲麻	酪農学園大学
	15:00	B-12	ハイブリッド授業における双方向性を向上させる授業方法	由良 亮	中京学院大学短期大学部
	15:20		休 憩		
	15:30	B-13	自律的に学ぶ姿勢を育む個別化教育の推進—医療人を目指す者の学び方改革	向所 賢一	滋賀医科大学
	15:50	B-14	医療における倫理観の醸成を目指したカリキュラムにおけるICT活用の教育効果の検証	加藤 里奈	昭和大学
C 初等・次等教育、キャリア教育、情報基礎・語学、分野横断的SDGs等	10:00	C-1	学生の授業省察力を高める遠隔授業観察の教育効果	福本 義久	四天王寺大学
	10:20	C-2	授業内での講義動画視聴によって個別最適化学習を図る授業実践	峰本 義明	新潟青陵大学短期大学部
	10:40	C-3	電子黒板の板書の仕方、タブレットPCを使ったデジタルノート作成指導方法の開発	坂本 徳弥	椋山女学園大学
	11:00		休 憩		
	11:10	C-4	ICT活用による多様性に応じた子ども・子育て支援を通じた保育者養成	瀬々倉 玉奈	京都女子大学
	11:30	C-5	遠隔授業における質問支援機能の利用とその効果	永田 奈央美	静岡産業大学
	11:50	C-6	タブレット端末を用いた遠隔授業の理解度向上への取り組み	田中 真	東海大学
	12:10		休 憩		
	13:10	C-7	クラウド型スプレッドシートを使った英語語彙集課題：学習者の自律性欲求に注目して	ラムスデン 多夏子	京都外国語大学
	13:30	C-8	LMS利用の隔週語学（英語）授業—語学授業の頻度への挑戦	山本 昭夫	学習院大学
	13:50	C-9	大規模公開オンライン講座（MOOCs）を活用した留学代替プログラム	鈴木 夏代	東京女子大学
	14:10		休 憩		
	14:20	C-10	地域産学協働によるゴルフ場でのPBIの取組みとICTを活用したモニタリングの試み	庄司 一也	帝京平成大学
	14:40	C-11	コロナを経験した教育に求められるオンラインと対面の融合授業の重要性	小泉 京美	相模女子大学
	15:00	C-12	コミュニケーションツールを活用したハイブリッド型PBLの受講継続と葛藤と学びの接続	李 永淑	帝京大学
	15:20		休 憩		
	15:30	C-13	コロナ禍のハイブリッド型体育授業が 大学新生の健康生活習慣にもたらす効果と課題	加藤 知己	東京電機大学
	15:50	C-14	栄養士養成課程におけるAI教育の導入とICT活用による教育効果の向上について	治京 玉記	大阪夕陽丘学園短期大学
	16:10	C-15	学修目標を自己チェックする仕組みによる受講生の主体性促進の試み	中村 太戯留	武蔵野大学